

## 部会等運営委員会報告

木村 敦 (JAEA)

2024/3/27

### 1. 今年度の主な活動 (運営委員 16 名)

- 秋の大会における企画セッション
  1. 核データ部会、材料部会 [シグマ調査専門委員会共催]  
材料損傷評価のための核データおよび材料照射研究への活用  
2023 年 9 月 7 日 (木) A 会場
  2. シグマ調査専門委員会 [核データ部会共催]  
「シグマ」調査専門委員会 2021、2022 年度活動報告  
2023 年 9 月 8 日 (金) N 会場
- 春の年会における企画セッション  
核データ部会、[シグマ調査専門委員会共催]  
「ミュオン核データの進展」  
2024 年 3 月 27 日 (水) I 会場 (このあと)
- 2023 年度核データ+PHITS 合同研究会  
日程: 2023 年 11 月 15 日 (水) ~ 11 月 17 日 (金)  
開催場所: 東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」(茨城県、東海村)  
108 名参加
- 年会・大会 [予定]  
2025 年秋の大会 2024 年 9 月 11 日 (水) - 13 日 (金)  
東北大学川内北キャンパス  
2025 年春の年会 会期未定 オンライン開催
- 核データニュース発行 (No. 135 ~ No. 137 3 件)
- ニュースレターの発行 (185 号、186 号 2 件)
- 部会賞 学術賞 1 件、奨励賞 1 件

### 2. 部会会員数

216 名 (2023/5/29) +1 名

参考:

前回集計: 215 名 (2022/6/1)

前々回集計: 221 名 (2021/5/24)

### 3. 部会等運営委員会での関連する主な議事内容

- 繰越金の取扱いについて

各部会の繰越金の取扱いについて質問がり、財務担当の松浦理事より上限は設定していないが持ちすぎるのはよくなく、開催イベントは収支均衡を基本として対応して欲しいとの返答があった。複数の部会から出た繰越金の有効利用の要望に関しても、ポジティブに考えてよく、個別に議論して対応したいとの返答があった。

- 開催循環について

「2025 春」～「2026 秋」の開催形態及び担当支部についての報告があり、承認され、事務局より各支部に打診を行う事となった。

2025 年～2026 年の担当を打診

|         |       |         |
|---------|-------|---------|
| 2025 年春 | オンライン | 関東・甲越支部 |
| 2025 年秋 | 現地開催  | 九州支部    |
| 2026 年春 | オンライン | 北関東支部   |
| 2026 年秋 | 現地開催  | 中国・四国支部 |

以下未定

|         |       |         |
|---------|-------|---------|
| 2027 年春 | オンライン | 北海道支部   |
| 2027 年秋 | 現地開催  | 関東・甲越支部 |
| 2028 年春 | オンライン | 九州支部    |
| 2028 年秋 | 現地開催  | 関西支部    |
| 2029 年春 | オンライン | 中国・四国支部 |
| 2029 年秋 | 現地開催  | 北関東支部   |
| 2030 年春 | オンライン | 関東・甲越支部 |
| 2030 年秋 | 現地開催  | 中部支部    |

(第 1 回部会等運営委員会)

- 春の年会のオンライン開催について

他学会では対面（若しくはハイブリッド）開催に回帰してきており、春の年会を Web 開催とする決定を再考してはどうかとの問題提起があった。これについて、対面とする効用や現地委員会の負担等を考慮した上で、再検討していくこととなった。また、今後の再検討にあたっては、現地委員会を担うのは各支部であることから、支部協議委員会とも情報共有して進めていくこととしたい旨の意向が示された。

(第 2 回部会等運営委員会)

以上